



# Red Hat Hybrid Cloud Console 1-latest

## FedRAMP を使用した Red Hat Hybrid Cloud Console のスタートガイド

Red Hat Hybrid Cloud Console の機能とサービス进行操作する方法



# Red Hat Hybrid Cloud Console 1-latest FedRAMP を使用した Red Hat Hybrid Cloud Console のスタートガイド

---

Red Hat Hybrid Cloud Console の機能とサービス进行操作する方法

## 法律上の通知

Copyright © 2024 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

このガイドでは、FedRAMP<sup>®</sup> およびその機能で Red Hat Hybrid Cloud Console を使用するための概要と基本的な手順を説明します。

---

## 目次

はじめに .....	3
第1章 RED HAT HYBRID CLOUD CONSOLE とは .....	4
1.1. HYBRID CLOUD CONSOLE 上の RED HAT ENTERPRISE LINUX .....	4
1.2. HYBRID CLOUD CONSOLE の RED HAT OPENSIFT .....	4
第2章 RED HAT HYBRID CLOUD CONSOLE の操作 .....	5
第3章 HYBRID CLOUD CONSOLE ユーザーアクセス .....	6
3.1. ユーザーアクセスグループ、ロール、パーミッション .....	6
3.2. サービスへのパーミッションの表示 .....	6
第4章 HYBRID CLOUD CONSOLE での通知の管理 .....	8
多様性を受け入れるオープンソースの強化 .....	9
RED HAT ドキュメントへのフィードバック (英語のみ) .....	10



## はじめに

Red Hat Hybrid Cloud ユーザーは、パブリッククラウド、プライベートクラウド、オンプレミスインフラストラクチャーのサービスを使用できます。このガイドを使用して、Red Hat アカウントのグローバル設定を構成する方法と、Hybrid Cloud Console で利用できるクラウドサービスの詳細を確認してください。

### 前提条件

- Red Hat アカウントで Hybrid Cloud Console にログインしている。
- サポートされている Web ブラウザーを使用している。Web ブラウザーの要件の詳細は、[Hybrid Cloud Console](#) のランディングページの下部にある **Browser Support** のリンクを参照してください。

# 第1章 RED HAT HYBRID CLOUD CONSOLE とは

Red Hat Hybrid Cloud Console を使用することで、ホストされたサービスの包括的なセットに単一のインターフェイスからアクセスできます。Hybrid Cloud Console は、開発者と IT 管理者がハイブリッドクラウド全体でワークロードを構築、デプロイメント、最適化するために必要なコンテンツ、ツール、可視性を提供します。

Hybrid Cloud Console では、さまざまなプラットフォームに接続し、ハイブリッドクラウドとその中のデプロイメントを一元管理および自動化できます。Hybrid Cloud Console を使用して、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) インフラストラクチャー、Red Hat OpenShift クラスター、およびアプリケーションサービスを管理します。

Hybrid Cloud Console から、次のタスクを実行できます。

- Red Hat Insights を使用して、リスクとダウンタイムを削減し、コンプライアンスを向上させ、RHEL および Red Hat OpenShift リソースへの支出を最適化します。
- RHEL システム、Red Hat OpenShift クラスターノードに関する情報を1つのインターフェイスで表示します。
- さまざまなタイプの Red Hat OpenShift クラスターを管理、更新、デプロイし、クラスターアドオンをインストールします。
- Red Hat OpenShift 上にアプリケーションをデプロイします。
- セキュリティポリシーを管理し、パイプラインを構築します。

## 1.1. HYBRID CLOUD CONSOLE 上の RED HAT ENTERPRISE LINUX

Red Hat Hybrid Cloud Console は、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) の運用、セキュリティ、サブスクリプションを一元的に表示します。

ツール、ルールベースの分析モデル、Red Hat のサポートを通じて、コンソールを使用して、RHEL 上のアプリケーションに安定した安全な環境を構築して提供するために必要なタスクや分析の多くを合理化できます。

### 関連情報

- Red Hat Enterprise Linux の詳細は、[Red Hat Enterprise Linux のドキュメントページ](#) の「クラウド」セクションを参照してください。
- Red Hat Insights for Red Hat Enterprise Linux の詳細は、[Red Hat Insights のドキュメントページ](#) を参照してください。

## 1.2. HYBRID CLOUD CONSOLE の RED HAT OPENSHIFT

Red Hat Hybrid Cloud Console は、Red Hat OpenShift クラスターの一元的なレポートと管理を提供します。OpenShift Cluster Manager サービスを使用すると、サポートされている環境全体で Operator が Red Hat OpenShift クラスターを作成、登録、アップグレードする方法を合理化および簡素化できます。クラスターには OpenShift クラスターのインベントリが含まれており、OpenShift クラスターを作成、管理、削除する機能を提供します。



## 第2章 RED HAT HYBRID CLOUD CONSOLE の操作

Red Hat Hybrid Cloud Console 内から、コンソールとそのサービスのガイド付きツアーに参加したり、目標の達成に役立つ情報を検索したり、サービスの使用を開始したりできます。実行できるタスクの一部を次に示します。

- [All Services](#) ページでサービスを見つけて、後で簡単に見つけられるようにお気に入りに登録します。
- 歯車アイコンの下にある **Settings** メニューから次のグローバル設定を構成します。
  - 通知: コンソールサービスで発生する重要なイベントに関する通知をいつ、どのように受信するかを設定します。
- 歯車アイコンの下にある **Identity & Access Management** メニューからユーザーアクセスを設定します。
- プロファイルメニューの **User Preferences** から通知の設定を構成します。
- コンソールの更新を確認し、製品ツアーに参加し、フィードバックを送信します。

## 第3章 HYBRID CLOUD CONSOLE ユーザーアクセス

ユーザーアクセス機能は、Red Hat Hybrid Cloud Console でホストされるさまざまなサービスへのユーザーアクセスを制御するロールベースのアクセス制御 (RBAC) の実装です。組織管理者は、ユーザーアクセス機能を使用して、Hybrid Cloud Console でホストされるサービスへのアクセスを他のユーザーに付与します。組織管理者は、組織管理者のロールを持たない他のユーザーに特別なロール `User Access Administrator` を割り当てることができます。User Access Administrator ロールを持つユーザーは、Red Hat Hybrid Cloud Console でユーザーアクセスを管理できます。

Red Hat Hybrid Cloud Console でのユーザーアクセスは追加モデルを使用します。これは、アクションが許可されるだけであり、拒否されないことを意味します。アクセスを制御するには、組織管理者は、必要な権限を持つ適切なロールをグループに割り当て、ユーザーをそれらのグループに追加します。個別のユーザーに許可されるアクセスは、そのユーザーが属するすべてのグループに割り当てられたすべてのロールになります。

### 関連情報

- 組織管理者のユーザーアクセス機能の詳細は、[FedRAMP を使用したロールベースアクセス制御 \(RBAC\) のユーザーアクセス設定ガイド](#) を参照してください。
- 組織管理者のユーザーアクセス機能に関するクイックスタートの一覧は、Identity & Access Management [Learning Resources](#) ページを参照してください。

### 3.1. ユーザーアクセスグループ、ロール、パーミッション

ユーザーアクセスは以下のカテゴリーを使用して、組織管理者がサポートされる Red Hat Hybrid Cloud Console サービスに付与できるユーザーアクセスのレベルを決定します。許可されたユーザーに提供されるアクセスは、そのユーザーが属するグループと、そのグループに割り当てられたロールによって異なります。

- **Group:** ロールをユーザーにマッピングするアカウントに属するユーザーのコレクション。組織管理者は、グループを使用してグループにロールを割り当て、グループにユーザーを追加することができます。ロールがなく、ユーザーがないグループも作成できます。
- **Role:** Insights などの特定サービスへのアクセスを提供するパーミッションのセット。特定の操作を実行するパーミッションは特定のロールに割り当てられます。ロールはグループに割り当てられます。たとえば、サービスに `read` ロールと `write` ロールがあるとします。両方のロールをグループに追加すると、そのグループのすべてのメンバーに、そのサービスの読み取りおよび書き込みパーミッションが付与されます。
- **Permissions:** サービスの要求可能な個別のアクション。パーミッションはロールに割り当てられます。

### 3.2. サービスへのパーミッションの表示

組織管理者は、Red Hat Hybrid Cloud Console のさまざまなサービスへのアクセスを許可および管理します。コンソールで各サービスのパーミッションを表示できます。

#### 前提条件

- Hybrid Cloud Console にログインしている。

#### 手順

1. Red Hat Hybrid Cloud Console ウィンドウの右上にあるユーザーアバターをクリックします。ドロップダウンリストが表示されます。
2. **My User Access** をクリックします。 **My User Access** ページが開きます。
3. Red Hat Enterprise Linux などのサービスグループを選択します。サービスの表が表示されます。パーミッションは **Operation** 列に一覧表示されます。

## 第4章 HYBRID CLOUD CONSOLE での通知の管理

Hybrid Cloud Console のサービスは、特定のイベントの発生時に通知を送信します。組織管理者は、受信可能な通知を設定します。通知を受信する方法を選択できます。また、受信しないという選択も可能です。



### 注記

組織管理者の場合は、**Settings > Notifications** から組織内のユーザーへの通知を設定します。詳細は、[FedRAMP を使用した Red Hat Hybrid Cloud Console のスタートガイド](#) を参照してください。

### 前提条件

- Hybrid Cloud Console にログインしている。
- コンソールで関連するイベントを設定している。
- 通知管理者または組織管理者が、イベント通知を受け取るように動作グループを設定している。

### 手順

1. Red Hat Hybrid Cloud Console ウィンドウの右上にあるユーザーアバターをクリックします。ドロップダウンリストが表示されます。
2. **User Preferences** をクリックします。**My Notifications** ページが開きます。
3. Advisor や User Access など、通知を設定するサービスを選択します。選択したサービスで利用可能なイベント通知のリストが開きます。
4. リストの上部にある **Select all** をクリックしてサービスの全通知を有効にするか、リストされている各イベントに対して次のオプションのいずれかを選択します。
  - **Weekly report**: Advisor Weekly Report を含むメールが送信されます。
5. **Save** をクリックして、変更を確定します。メール通知は、選択した形式および頻度で配信されます。



### 注記

通知の受信を停止する場合は、**Deselect all** を選択するか、通知を受信しないイベントのボックスのチェックを外して、**Save** をクリックします。この画面に戻って再度有効にしない限り、メール通知は受信されなくなります。

## 多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、用語の置き換えは、今後の複数のリリースにわたって段階的に実施されます。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) をご覧ください。

## RED HAT ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)

Red Hat ドキュメントに関するご意見やご感想をお寄せください。ご要望に対応できるよう、できるだけ詳細にご記入ください。

### 前提条件

- Red Hat アカウントを持っている。Red Hat アカウントをお持ちでない場合は、[Red Hat カスタマーポータル](#) ホームページで **登録** をクリックしてアカウントを作成できます。
- Red Hat アカウントにログインしている。

### 手順

1. フィードバックを提供するには、[Create Issue](#) のリンクをクリックします。
2. **Summary** テキストボックスに、問題または機能拡張に関する説明を入力します。
3. **Description** テキストボックスに、問題または機能拡張の詳細を入力します。
4. Red Hat ユーザー名が **Reporter** テキストボックスに自動的に表示されない場合は、入力します。
5. ページの一番下までスクロールし、**Create** ボタンをクリックします。ドキュメントの問題に関するチケットが作成され、適切なドキュメントチームに転送されます。

フィードバックの提供にご協力いただきありがとうございました。